



ロータリー：  
変化をもたらす



例会日 ■平成 30 年 1 月 11 日(木) 会場 ■割烹八文字屋 開会点鐘 ■12:30 2017-18 年度 VOL 25

### 三春 RC テーマ:「ロータリーを広めよう！」

#### Contents:職業奉仕月間プログラム

【例 会】 司会:橋本紀子 SAA	5. 幹事報告	【プログラム】
1.開会点鐘	6. 各委員会報告	職業奉仕月間プログラム
2.ロータリーソング「我らの生業」	7. 友の見どころ	渡邊宏二地区職業奉仕情報委員
3.四つのテストの唱和	1 月担当:福原義守さん	
4.会長挨拶		閉会点鐘

#### 会 長 挨 拶



皆さん、こんにちは。  
今月は職業奉仕月間  
になります。

ロータリーは職業奉仕  
ともいわれます。仕事  
を通し社会に貢献しているという意味では全  
ての社会人に当てはまることと言えます。

それがどのように貢献しているのか自分自  
身実感できないような場合においても社会の  
一員であれば職業や役職、雇用形態に関わら  
ず云えることだと思います。ではロータリア  
ンであることで、何が違うのだろうと考えま  
した。私の答えはシンプルでした。

ロータリアンは仕事を通して社会に貢献し  
ているということを良く理解している。だから倫理観と信念を持って常に行動している。  
若しくは行動しようとしている。ロータリア

ンとはそういう人たちだと思いました。

職業を通し地域社会に貢献することの意味  
と大切さを再確認していきたいと思ひます。

私の携わっている建築の分野では建築基準  
法や建設業法はもとより、宅建業法、都市計  
画法や消防法、さらには不動産登記法や民法  
などなど他にも沢山の法律が関係しています。  
法令順守は当然のことですし、無事故無災害、  
上手に出来て当たり前の世界です。

お一人お一人違うお客様の要望を形にして  
いくのは大変な時もありますがとてもやりが  
いのある仕事であると思ひています。

これまでに設計したお宅は間もなく 200 棟  
になります。

今日は地区の職業情報委員会の渡邊宏二さ  
んの卓話をお聞きし職業奉仕についての理  
解を深めたいと思ひます。



## 幹事報告

3

### 1. 第27回 三春ロータリークラブ杯 フットサル大会

日時：平成30年2月4日（日）

場所：三春町民体育館（貝山）

集合時間：午前8：00

成績発表・表彰：午後3：30～（予定）

※出席される方は三春ロータリージャンパーを着用ください。



### 2. 第7回 三春ロータリークラブ杯 三春地区剣道大会

日時：平成30年3月3日（土） 場所：三春町武道館（三春中学校敷地内）

集合時間：午前8：15

※出席される方は三春ロータリージャンパーを着用ください。

### 3. 三春ロータリー2018年を祈願して

私事ですみませんが、三春ロータリーのさらなる繁栄の祈願と、成年の年男として1月7日に柳津 七日堂裸参りに行ってきました。今回で4回目ですが、見学ではなく、三春男児を代表しフンドシ姿になり「参加」してきました。参りの最中、後ろから見学している女性の方々に僕の美しいお尻をペタペタ触られました、これが女性の厄払いらしいです。大変勉強になりましたが、素足でフンドシー丁は苦痛を通り越して笑いになるくらい寒かったです。

また来年も参加したいと思います。

## 各委員会報告

### ◇増子博保青少年委員長より報告

### 1. 第27回 三春ロータリークラブ杯 フットサル大会

日時：平成30年2月4日（日）

場所：三春町民体育館（貝山）

集合時間：午前8：00

成績発表・表彰：午後3：30～（予定）

※出席される方は三春ロータリージャンパーを着用ください。



### 2. 第7回 三春ロータリークラブ杯 三春地区剣道大会

日時：平成30年3月3日（土） 場所：三春町武道館（三春中学校敷地内）

集合時間：午前8：15

### 3. 第 38 回 RYLA (ライラ) 研修会参加のご案内

日時：2018 年 2 月 24 日 (土) 13:30～ 25 日 (日) 12:30

場所：郡山ビューホテル 郡山市中町 10-10 ☎ 024-939-1111

講師：増子博保ローターアクト委員長他

参加費：クラブ負担

申込締切日 1 月 31 日 (水)

各クラブ：研修生 1 名以上のご推薦、合わせて会員の参加

#### ◇影山吉則会長より

米山奨学生レイゾウウィ君の近況報告について

#### ◇ロータリーの友見どころ

2018 年 1 月号 友の見どころ 発表者 福原義守

《今月は職業奉仕月間です》

今月の R I 指定記事は 3P と 39P です。

R I 指定記事とは、ご存知のようにロータリーの規則で「ロータリーの友」「The Rotarian」のいずれかの購読が義務付けられています。そのもう一つの雑誌「The Rotarian」のが RI 指定記事です。

内容は、R I 会長や財団管理委員長のメッセージなどです。

#### P3 「多様性はロータリーの強み」 イアン・H・S・ライズリー R I 会長

私たちロータリアンは、多彩な経歴や能力を持つ人々の集まりであり、私たちの持つ多様性はロータリーの強みである。

多様性に関して早急に取り組まなければならない課題が二つある。

一つは持続可能な将来性を約束づけるためには、若くて有能な会員の入会が必要である。

もう一つは、女性会員の入会に力を注ぐこと。現在女性会員は全体の 21%、これは大きな前進といえるが、ロータリーは男性だけのための組織といまだに思われている面がある、それを払しょくするにはもっともっと女性会員の入会が必要です。多様性を反映したクラブを築きましょう。

5p 「福島マルシェ」 東日本大震災の復興支援を機に姉妹クラブとなった東京麹町 RC と福島南 RC が連携し都内で開催。

#### 8p 「職業奉仕について考える」 茅ヶ崎湘南 RC 元 R I 理事 松宮 剛氏

職業奉仕月間にちなんで元 R I 理事の松宮剛様が掲載された大変濃い内容で 8p～11p にわたって記載されています。是非ご一読ください。

12p～15p 「私が実践する・考える職業奉仕」全国から 10 のクラブが 職業奉仕について投稿している。

#### 16p～20p 奉仕のパートナー ロータリー地域社会共同体 RCC

ロータリー地域社会共同体 (Rotary Community Corps) ロータリークラブと協力して地域のための奉仕活動をするロータリアン以外の人から成るグループについて記載されています。日本では現在 40 の RCC が活躍している。



ロータリークラブがスポンサーとなり経済的に支援。RCが地域の人々と深く関わった素晴らしい活動内容が紹介されている。

### 30p～31p よねやまだより 米山記念奨学事業 50年の歩み③ -1970年代-

いまでは、日本のロータリーの誇りといえる一大事業となった米山奨学事業の礎を築いた塩原禎三氏について掲載されている。また、31pのよねやまミニだよりには我々のIMで講演していただく「于咏」がイアンH. S. ライズリー R I 会長との懇談の様子が記載されている。

34p 当地区の地区大会報告が掲載されている。

39p R I 指定記事 2018 も実り多い年に ポールA. ネツェル財団管理委員長からのメッセージ  
今年度のポリオ募金目標 5,000 万ドル 2025 年までに恒久基金の合計額 20 億 2,500 万ドル  
が目標

縦書き

9p クラブを訪ねて 飯坂 RC 伝統の神輿出羽の国際交流 いで湯の町の“熱き”クラブ

22p ロタリーアットワーク 「心はいつも故郷に」 吉田昂城君ピアノ独奏会 地区青少年奉仕  
委員長 廣澤俊樹氏

オーストリアのロータリアンと同国政府の招待で「被災高校生招待プロジェクト」、東日本大震災で被災した福島の高中生 23 人がオーストリアを訪問。その中の一人であった吉田君、ロータリアンとの縁で現在ウイーン国国立音楽大学ピアノ科で勉強中。

## 本日のプログラム

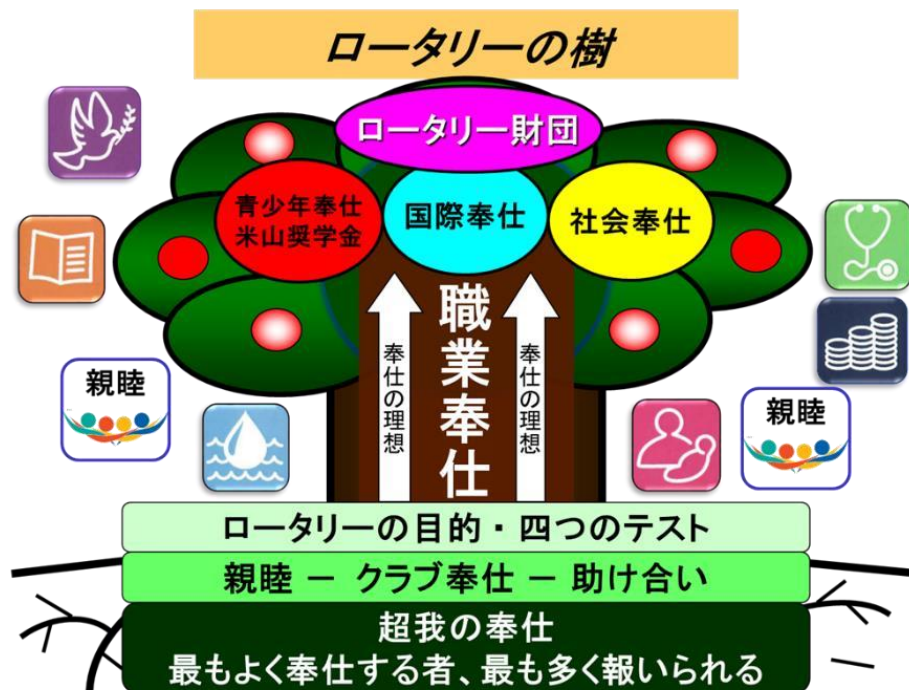
### ◇ 職業奉仕月間プログラム

大内幸一職業奉仕委員長より 11 月 5 日に開催された  
第 1 回職業奉仕委員会セミナーについての報告。  
ガバナー月信 1 月号の 11 ページ、  
職業奉仕委員会情報 14 ページを報告。  
引き続き、渡邊宏二地区職業奉仕情報委員から  
卓話をいただいた。



#### □ はじめに

職業奉仕はロータリーの根幹である、あるいは職業奉仕はロータリーの金看板という言葉をよく耳にします。他の奉仕団体と違い、ロータリークラブは職業分類という考えがあり、職業を持った者が集うというのが基本です。そして「職業を通して社会に奉仕する」ということが、職業奉仕の考え方であり本質です。しかしながら職業奉仕はよく解らないという言葉も耳にします。私自身もそのうちのひとりでした。クラブに入会させていただいて職業奉仕が何なのか全く解っていませんでした。ただ漠然と職業奉仕の事業である職場見学に参加していました。そんな私が ご縁で地区職業奉仕委員会に出向させていただき職業奉仕について地区の委員の皆様と今日まで勉強し自分なりに理解してきました。職業奉仕月間でありますので職業奉仕入門をテキストにロータリーの歴史から奉仕理念の確立、そして四つのテストとの関連まで出来る限り解りやすく、皆様と共に勉強し理解したいと思いますのでよろしくお願いいたします。



「ロータリーの樹」はロータリーの職業奉仕を理解する最もよいと資料と思われます。これは、2008年 RI 国際協議会の全体会議において、渡辺好政 RI 理事が「ロータリーの樹・2008」と銘打ってロータリーを「一本の樹」に例えて、ロータリーの奉仕活動における職業奉仕の位置づけを行いながら、「ロータリーにおける職業奉仕の重要性について」の講演を行った時のものを一部修正し、シカゴにおいて開催された「2013年 RI 規定審議会の審議を経て採択された渡辺好政氏の説明です。

「1905年、ポール・ハリスら4名によって創始された最初のロータリークラブは、その歴史が示すように、初めに、親睦、助け合いから始まりました。すなわち、ロータリーの樹に水と栄養を送る「根」は「クラブ奉仕」であります。ロータリークラブ会員は、クラブという学校で相手のことに思いを馳せ、相手を助けるという『奉仕の理想』を学び、その真意が『共存共栄』であることがわかります。『クラブ会員』は、ロータリーの目的を基本として、H.テラーによって実証され、ロータリアンの行動規範である「四つのテスト」による奉仕活動の実際を体得することによって、『ロータリアン』に進化してまいります。ロータリークラブ会員からロータリアンに進化してゆく過程の基盤には、F.コリンズの『超私の奉仕』、A.シェルドンの『もっとも奉仕するもの、最も多く報いられる』が存在いたします。この2つのモットーを1枚のコインの表・裏と考えながら、日常の奉仕活動に邁進しております。ロータリーは「理念の高唱」に終わるのではなく、「行動の哲学」なのであります。

#### ■ロータリーの歴史（ロータリーの奉仕の理念の確立）

- 1905 ポール・ハリス 「親睦」でスタートする。
- 1905 ドナルド・カーター 「奉仕」の考え方をもち込む。
- 1911 ベンジャミン・フランクリン・コリンズ  
奉仕は「自己犠牲」(Service not Self)と提唱する。
- 1911 ロータリーの目的が採択される。
- 1912 アーサー・フレデリック・シェルドン  
コリンズの「自己犠牲」はいきすぎであるとし  
「超私の奉仕」(Service above Self)に修正する。
- 1915 ロータリーの倫理訓が採択される。

- 1921 アーサー・フレデリック・シェルドン  
「他人に最もよく奉仕する者が、最も多く報いられる」を提唱する。
- 1931 ハーバード・テラー  
会社再建のため「四つのテスト」考案し実践する。  
その後 RI 理事会は「四つのテスト」を職業奉仕の構成要素として採用する。
- 1954 ハーバード・テラー「四つのテスト」の著作権を RI に寄贈する。  
ロータリー誕生当時の定款（シカゴクラブ）  
一人一業種制度の限定会員制クラブとして4名で創立する。  
第1条 会員の事業上の利益の増大 第2条 社交クラブに付随する親睦  
創立時は「親睦」団体で“Back Scratching”（お互いの背中を掻きあう）  
の世界であったが、やがて奉仕を行うクラブに変わっていった

### ドナルド・カーター入会物語（奉仕の理念の導入）

入会を誘われたカーターは、一業種一会員制は自分達だけのエゴイズムであり、他の同業者、一般地域社会の職業人達はどうかと疑問を呈した。そこで、定款を改正し、第3条 シカゴ市の利益をより推進し、市民の中にシカゴ市に対する誇りと忠誠の精神を普及することを追加した。奉仕の理念「われらの親睦のエネルギーを世のため人のために」が導入されたことにより、ドナルド・カーターは喜んで参加した。

### ■ロータリーの目的(1912)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において 日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。  
ロータリアンは一人一人が自らを高め、日々奉仕の理念を实践することを説き、その対象は、事業のみならず社会生活にわたっている

### ロータリーの倫理訓（1915）

この倫理訓の目的は、個人の完成をその基礎とし国家の永続はただ自我を温存するためなりとの立場をとるギリシャ的倫理観ではなくして、この倫理訓の根本前提は、愛なのである。すなわち、ロータリアンが正しいことをなすのは、単に自我を温存させるためだけではないのであって、他人を滅すよりはむしろ 他人に滅されんことを選ぶ、という立場をとるからである。  
奉仕は個人の完成を前提とし、他者を先に考えることを説いている

### 奉仕の思想の確立

1911 年ベンジャミン・フランクリン・コリンズは「ロータリーの奉仕というものは、自分を犠牲

にして宇宙を支配している神に帰依すること、これがロータリーの奉仕であると「Service not self」を提唱した。

これに対し、アーサー・フレデリック・シェルドンは「ロータリーは宗教的なクラブではない、自己犠牲は行き過ぎだ」とし、「Service above self」（超我の奉仕）を提唱した。そして、シェルドンの「超我の奉仕」ロータリーの奉仕の理念となった。さらに、1921年にシェルドンはロータリーの行動理念として「One profits most who serves best」（他人に最もよく奉仕する者が、最も多く報いられる）を提唱した。こうして、これらが奉仕の理念となった。

### 「四つのテスト」成立の物語

ハーバード・テラーは、1931年にクラブ・アルミニウム社（従業員250人）の再建を引き受けた。当時、社は経済恐慌のあおりで破産状態（40万ドルの借金）であり、またアルミ食器業界の現状は大変厳しかった。テラーは、如何にすれば再建が可能になるか6週間の沈黙考し、この状態を切り抜けるためには、全員が極めて倫理的な立場をとらねばならぬと考えた。正義こそ力の源だ。従業員が正しさに耳を傾け、それによって行動するよう管理運営ができれば万事うまく行くと思い、そこで、社内中の誰もが頭の中に納め、そして対人関係での思考と言動に応用できるような座右銘が必要であると考えた。こうして出来上がったのが「四つのテスト」である。

1930年代のクラブ・アルミニウム社では、あらゆることが、四つのテストに照らして判断され、やがてディーラーや顧客、従業員の間、同社に対する信頼と好意が生まれていった。四つのテストは、社風の一部となり、やがてクラブ・アルミニウム社に対する信望は高まり、財政の改善に寄与することになり、こうして、1937年までに、同社の負債は完済され、その後の15年間では、株主に対して100万ドル以上もの配当が支払われ、同社の純資産は200万ドル以上に達した。

その後、RI理事会は「四つのテスト」を職業奉仕プログラムの構成要素として採用し、ロータリーの行動規範とした。ロータリー創立50周年に当たる1955-56年度RI会長に就任したハーバード・テラーは「四つのテスト」の著作権をRIに移譲した。

四つのテストはロータリアンの行動をテストするものです

四つのテスト

「言行はこれに照らしてから」

真実か どうか

みんなに公平か

好意と友情を深めたか

みんなのためになるか どうか

### ロータリーの奉仕

ロータリーの奉仕は「Thoughtfulness of and helpfulness to others」（思いやりの心をもって他人のために尽くす）と説明されています。奉仕は一般に「世のため人のために尽くす」と理解されているが、ロータリーの奉仕は、一方通行のものではなく、他人を思いやることと対になった理念であることを説いています。

### ロータリーの奉仕の理念の日本への導入

ロータリーの理念が日本に入ってきたとき、大いに研究がなされた。実は日本では江戸時代から同様な考え方「商人道」があり、近江商人の「三方よし」はその代表的ものである。また下村彦江門の「先義後利」はまさに「Service above Self」と考えられるでしょう。このような背景から、ロータ

リーの奉仕の理念は日本ロータリーにスムーズに受け入れられたと思われます。

### 「入りて学び、出でて奉仕せよ」

ロータリーでは、この標語がよく使われています。「入りて学び」はロータリーがロータリアンの修練の場であること（内なる人づくり）、「出でて奉仕せよ」はロータリアンが外に働きかける人づくり（外なる人づくり）のことで、人づくりはこれらが両輪となって行うものとの意味でしょう。米山梅吉氏は、ロータリーは「人生の道場である、人づくりの修練の場」と言っています。

### 「ロータリーは人づくり」について

歴代の RI 会長は「人づくり」について次のように述べています。

1954-1955 RI 会長ハーバード・テラー

“Rotary is maker of friendship and builder of men” 「ロータリーとは、友情を育み、人と社会をつくり、世界各国の人々の間に善意と友情を芽生えさせる団体である」、「ロータリーのしなければならない大きな仕事に人格者を育てること、つまり人づくりではないかと、私は思っています。政界や実業界において、また地域社会や家庭において -生活の様々な領域において有能な役に立つ人物を育成すること -そのことこそローリー・クラブのなすべき仕事ではありますまいか。よい市民、よい指導者を育て上げることは是非必要なことであります。」

1974-75 RI 会長ビル・ロビンス “Rotary’s first job is to build men” 「ロータリーが最初に行うべきことは人づくりである。」

1982-83 RI 会長向笠広次「ロータリーの効果は精神的汚染の治療にとどまらず、個々のロータリアンの性格をも変えるという積極的効果をもたらす。つまり、真に熱心なロータリアンに対する報いは、より親切な心と優れた性格が与えられることである。

### ロータリーの社会に果たす役割

社会不祥事が多発し、世界各国の自己主張が対立している状況をかんがみると、ロータリーの行動哲学は益々重要性を増しているように思われます。「共存共栄の哲学」、「人づくりの哲学」を学び行動することはとても大切なことと考えられます。佐藤千寿氏は「ロータリアンはみな善人だ。しかし善人であるだけではだめなのであって、我々は積極的に善をなさなければならない。我々が黙ってはいちっともよくならないのだ」と説いています。

ロータリーは一人一人が行動する集まりなのです。

### Q & A

<ロータリーの奉仕について>

Q ロータリーの奉仕とはどのように実践したらいいのでしょうか？

A ロータリーでは「We serve」と「I serve」という言葉があります。We serve とは RI、地区ロータリー、各クラブで企画し実践している奉仕です。ポリオ撲滅運動、米山奨学生などへのサポート、各クラブの行っている実践活動などのように、財団やクラブへの寄付をもとに行う活動です。これに対し、「I serve」は会員が個人として行っている奉仕活動です。ロータリーの奉仕活動はこの2つの奉仕を両輪として行っています。

Q 「職業」と「奉仕」とは一見別々の言葉ですが、どう結び付けたらいいのでしょうか？

A ロータリーの奉仕は「思いやりの心をもって他人のために尽くす」ということですから、さまざま



まな局面においての思いやりの心を持って行う奉仕です。また、職業奉仕は職業を通して行う奉仕ですから、ロータリアンは職業活動やクラブでの活動を通して得たものを社会に還元し、奉仕するということになるでしょう。活動も一方的でなく、相手を思いやることが大切です。また、この活動を通してロータリアンにも多くの得るものがあると考えられます。

#### <職業奉仕の実践>

Q 職業奉仕は具体的にどのように実践したらいいのでしょうか？

A 職業活動やクラブの活動を通して得たものを社会に奉仕することが基本です。ここでは「I serve」について考えましょう。個人が行う職業奉仕ですから、まずご自身の職業活動についての奉仕が考えられます。ここで中心となるキーワードは「人づくり」でしょう。このことは、RI 会長が何回も言及されています、企業モラルが失われつつある現在、最も重要視されるべきことと考えられます。ご自身の職場での活動についてはいうまでもないでしょうから、社会に対しておこなう職業奉仕の実践ということになるでしょう。職業活動やクラブの活動を通して得たものを社会に奉仕するのであれば、どのような活動も素晴らしいことでしょう。

Q ロータリーと他の団体とどう違うのでしょうか？

A 多くの他の財団は寄付をおもなる活動としています。これはロータリーの言葉でいえば「We serve」に対応します。ロータリーは、これに加え「I serve」の2つの serve を両輪として活動している団体です。クラブの考え方、ロータリアンの考え方は多様でしょうから、さまざまな「I serve」が行われていることでしょうし、どの活動も素晴らしいものです。ロータリーは奉仕を実践している集まりなのです。

Q 例会出席と職業奉仕とはどのような関係にありますか？

A ロータリーの例会は「人づくり」の場です。ここで様々な考え方に会い、自らを高めていくことが求められています。例会で自らを高め、さまざまな職業活動を通して人づくりを行い、さらに自らを高めてゆくという、「例会→職業奉仕→例会」という循環の最初のステップです。ロータリーはこのことから例会出席を活動の重要な要素と考えています。

Q 企業の社会的責任についてロータリーはどのように考えますか？

A 最近多発している不祥事も企業の指導者の姿勢の問題が大きいと思われまます。ロータリーは各分野の代表的な方の集まりですから、ご自分の企業はもとよりお知り合いの企業の代表の方ともロータリーの倫理訓を話し合い理解していただく努力をすることはロータリアンとしてふさわしい仕事と思います。

#### <その他>

Q 3つのスローガンの関係はどうなっているのですか？

A 「超我の奉仕」は奉仕の理念を、「他人に最もよく奉仕する者が、最も多く報いられる」は行動理念を表すと考えられ、ちょうどコインの裏表の関係となっています。日々、奉仕の理念を実践したかどうかをテストする（行動規範）ためのものが「四つのテスト」です。

Q 四つのテストの第3番目の「好意と友情を深めたか」は何のためにあるのですか？

A これがロータリーの本質的なところと考えられます。ほかのテストはすべて「Yes」「No」で答えられますが、このテストはそうではありません。このことは、ロータリーは「人づくり」、つまり「自分づくり」が基本になり、「他人づくり」につながることを言っているのです。

Q 一業種一会員制は何のためにあったのですか？

A 当初からこの制度がありました。これは異業種の会員との交流で様々な考え方を吸収し自分を成長させることを目指していたといえるでしょう。この制度のおかげで、クラブは次々と子クラブをつくり、多くのクラブが誕生したわけです。

Q 人づくりは日本的な考え方ですか？

A 日本人にはとても分かりやすい考え方と思います。本文の注釈で書いたように、歴代の RI 会長も人づくりは大切だと力説しています。ロータリーは職業を通した人づくりの実践団体であると考えるのは妥当と思われる。

Q 会社で人を雇い、利益をあげて納税することが職業奉仕と言えるでしょうか？

A このことは会員であれば当然行わなければならないことです。しかし、このことだけに閉じこもってはいない真のロータリアンを目指すことはできないでしょう。会員は自ら奉仕実践することでロータリアンに進化して行きます。

本日は、貴重な時間をいただき職業奉仕についてお話させていただきました。この場を作って頂きましたことに感謝申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

閉会点鐘



国際ロータリー第2530地区  
三春ロータリークラブ



			TEL	FAX	E-mail
例会場	割烹文字屋	三春町字大町 18-1	62-5757	62-3174	<a href="mailto:hashimoto@8monjiya.jp">hashimoto@8monjiya.jp</a>
事務所	〒963-7759	三春町八島台 5-3-9	62-2334	62-2334	<a href="mailto:rcmiharu@gmail.com">rcmiharu@gmail.com</a>
会長	影山 吉則	三春町桜ヶ丘 3-1-3	62-3018	62-3110	<a href="mailto:y.kageyama@watadengumi.co.jp">y.kageyama@watadengumi.co.jp</a>
幹事	山口 晋司	三春町字中町 51-1	62-4038	62-4038	<a href="mailto:shinji@polsys-inc.com">shinji@polsys-inc.com</a>
会報	渡邊 宏二	三春町字荒町 60	62-2410	62-2410	<a href="mailto:yamadai@orange.plala.or.jp">yamadai@orange.plala.or.jp</a>